



2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 戸谷 元彦 TEL (03)5840-9551
 定時株主総会開催予定日 2023年9月28日 配当支払開始予定日 2023年9月29日
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	6,004	15.5	187	△55.1	194	△54.9	16	△93.7
2022年6月期	5,199	12.1	418	14.3	432	15.5	255	9.7

(注) 包括利益 2023年6月期 16百万円 (△93.7%) 2022年6月期 255百万円 (9.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	1.85	—	0.4	4.3	3.1
2022年6月期	29.94	29.64	6.9	9.8	8.0

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 ー百万円 2022年6月期 ー百万円

(注) 当連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	4,498	3,614	79.7	423.83
2022年6月期	4,578	3,800	83.0	443.56

(参考) 自己資本 2023年6月期 3,586百万円 2022年6月期 3,800百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	208	△421	△419	1,600
2022年6月期	614	△359	△94	2,233

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00	102	40.1	2.7
2023年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00	126	810.8	3.5
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00		81.8	

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,524	25.3	371	97.8	377	94.0	151	845.1	18.34

注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期	8,708,000株	2022年6月期	8,568,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期	246,667株	2022年6月期	367株
③ 期中平均株式数	2023年6月期	8,646,825株	2022年6月期	8,549,277株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	5,302	15.4	142	△64.4	148	△64.1	15	△93.5
2022年6月期	4,596	12.0	401	22.5	413	22.8	241	18.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	1.80	—
2022年6月期	28.20	27.92

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2023年6月期	4,169	3,433	3,433	82.4	405.78		
2022年6月期	4,227	3,651	3,651	86.4	426.09		

（参考）自己資本 2023年6月期 3,433百万円 2022年6月期 3,650百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

1. 当期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度（2022年7月1日から2023年6月30日まで）におけるわが国経済は、コロナ禍からの正常化の動きが加速し、消費者の慎重姿勢を和らげ、物価高が続くなかでも消費の回復が見込まれ、ウィズコロナを一層進展させております。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した『保険IQシステム®』、『ASシステム』、『AS-BOX』及び『スマートOCR®』を活用し、システムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

・保険販売事業

直営店部門は、向井理さんをイメージキャラクターとしたTVCMをメインに大規模なプロモーションを2022年11月と2023年2月に実施しました。また、オリコン顧客満足度®調査で保険ショップ部門史上初の3年連続総合1位を全面に押し出した広告も継続しております。その結果、Web広告からの電話相談・オンライン相談への流入が増加したことにより予約数は大幅に増加しました。一方で、既存店における直接来店件数は横ばいとなりました。売上高は前期を上回りましたが当初予想値には届きませんでした。なお6月末の直営店舗数は前期末から4店舗増の62店舗となりました。

法人営業部門は、新規案件及び既存顧客の大型追加契約の獲得により、売上高は当初予想値を上回りました。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は3,299,467千円（前連結会計年度比8.3%増）、セグメント利益は274,604千円（同39.0%減）となりました。

・ソリューション事業

FC部門は、6月末のFC店舗数が前期末より4店舗増の200店舗（18店舗オープン、10店舗クローズ、4店舗直営化、純増4店舗）となりました。一部店舗の直営化ならびに、Webからの送客増加により増収いたしました。今後も、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り込みを行っていきます。

AS部門は、ASシリーズのユーザーID数が11,921となり堅調に推移しました。

地方銀行への導入は増加しており、銀行の導入は前期30行から36行となりました。また、大手保険会社をはじめとした大型案件は複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。今後も全国規模の金融機関や保険会社、地方銀行、企業系代理店による新規導入の獲得に向けて注力しております。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は2,000,758千円（前連結会計年度比29.3%増）、セグメント利益は815,764千円（同37.3%増）となりました。

・システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、官公庁関連サービスへのOEM提供や大手企業や生命保険会社など、『スマートOCR®』関連の新規受託開発が好調に推移し大幅な増収増益となりました。『スマートOCR®』および電子帳簿保存クラウドサービス『DenHo®』については多くの問い合わせを頂いております。今後の当社グループの業績を牽引することが期待できるサービスの一つです。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は704,331千円（前連結会計年度比16.1%増）、セグメント利益は73,258千円（同94.7%増）となりました。

（注）『スマートOCR®』とは、AI（人工知能）を搭載し、ディープラーニング技術（深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ）を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

（注）『DenHo®』とは、紙文書をスキャンしたり、スマホで撮影してアップロードするとAIが文書の文字を認識・データ化して保存、文書内のキーワードで検索・閲覧できる電子帳簿保存法に対応したクラウドサービスです。

販売費及び一般管理費につきましては、2022年11月と2023年2月に実施したTVCMをメインとした大規模プロモーションや、人員増による人件費の増加、システム開発に伴うソフトウェア償却等から、当連結会計年度の販売費及び一般管理費は4,827,570千円（前連結会計年度比23.3%増）となりました。

この結果、当連結会計年度における業績は、売上高6,004,557千円（前連結会計年度比15.5%増）、営業利益187,890千円（同55.1%減）、経常利益194,772千円（同54.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益16,039千円（同93.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,831,291千円となり、前連結会計年度末に比べ178,867千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が632,413千円減少したことによるものであります。固定資産は1,667,573千円となり、前連結会計年度末に比べ99,573千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが48,586千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,498,864千円となり、前連結会計年度末に比べ79,293千円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は862,724千円となり、前連結会計年度末に比べ103,860千円増加いたしました。これは主に未払金が92,419千円増加したことによるものであります。固定負債は21,915千円となり、前連結会計年度末に比べ3,433千円増加いたしました。これは主にその他の固定負債が3,433千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、884,639千円となり、前連結会計年度末に比べ107,294千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,614,225千円となり、前連結会計年度末に比べ186,588千円減少いたしました。これは主に自己株式の取得により188,617千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.7%（前連結会計年度末は83.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ632,413千円減少し、当連結会計年度末には1,600,833千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は208,101千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益114,921千円、減価償却費256,277千円、売上債権及び契約資産の増加額260,375千円、契約負債の増加額5,263千円、法人税等の支払額154,252千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は421,592千円となりました。これは有形固定資産の取得による支出53,465千円、無形固定資産の取得による支出244,013千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は419,307千円となりました。これは主に配当金の支払額102,711千円、自己株式取得のための預け金の増減額212,544千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、企業テーマである「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」を掲げ、独自開発したサービスの活用や店舗網・システムユーザーの拡大により、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を目指しております。その企業テーマと経営方針に従い、2022年6月29日開催の取締役会において新たに「3か年計画」を策定し、目標年度を前計画の2023年6月期から2025年6月期に変更して再始動することを決定いたしました。次期（2024年6月期）は同計画の2年目となり、施策は以下の通りです。

- ① 保険SHOPの新しいスタイル～デジタル技術活用による最良の顧客サービスの永続的提供～
- ② 『保険クリニック®』の認知度向上、集客数の向上
- ③ DXを活用したオンライン相談の拡大
- ④ ASシステムの大型導入先の開拓、新サービスの提供
- ⑤ 『スマートOCR®』事業の更なる拡大、販売力の強化

上記の取り組みにより、次期（2024年6月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高7,524百万円（前連結会計年度比25.3%増）と増収を目指す一方、人財及びマーケティング拡大における効率的投資を実施する事により、営業利益371百万円（同97.8%増）、経常利益377百万円（同94.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益151百万円（同845.1%増）と増益を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,233,247	1,600,833
売掛金及び契約資産	633,152	892,500
その他	148,003	391,685
貸倒引当金	△4,244	△53,728
流動資産合計	3,010,158	2,831,291
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	392,357	411,258
減価償却累計額	△178,936	△194,987
減損損失累計額	△37,527	△67,897
建物附属設備 (純額)	175,892	148,373
車両運搬具	4,690	3,245
減価償却累計額	△2,507	△2,477
車両運搬具 (純額)	2,183	767
工具、器具及び備品	198,977	209,441
減価償却累計額	△131,277	△150,854
減損損失累計額	△2,438	△3,746
工具、器具及び備品 (純額)	65,260	54,840
建設仮勘定	—	1,185
リース資産	21,529	17,089
減価償却累計額	△14,016	△2,397
リース資産 (純額)	7,512	14,691
有形固定資産合計	250,849	219,858
無形固定資産		
のれん	66,958	56,883
ソフトウェア	469,144	517,731
ソフトウェア仮勘定	37,006	56,709
その他	58,814	41,304
無形固定資産合計	631,923	672,629
投資その他の資産		
投資有価証券	110,900	133,481
保証金	406,976	439,729
繰延税金資産	63,717	95,123
その他	103,633	106,749
投資その他の資産合計	685,226	775,085
固定資産合計	1,568,000	1,667,573
資産合計	4,578,158	4,498,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,662	111,495
未払金	114,881	207,300
未払費用	52,464	75,183
未払法人税等	118,300	70,600
契約負債	237,900	243,164
株主優待引当金	25,872	10,061
その他の引当金	3,458	13,130
その他	145,323	131,788
流動負債合計	758,863	862,724
固定負債		
その他	18,481	21,915
固定負債合計	18,481	21,915
負債合計	777,344	884,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,325,441	1,354,780
資本剰余金	1,268,517	1,300,498
利益剰余金	1,206,667	1,119,895
自己株式	△391	△189,009
株主資本合計	3,800,234	3,586,165
新株予約権	578	—
非支配株主持分	—	28,059
純資産合計	3,800,813	3,614,225
負債純資産合計	4,578,158	4,498,864

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,199,397	6,004,557
売上原価	865,268	989,096
売上総利益	4,334,128	5,015,460
販売費及び一般管理費	3,915,970	4,827,570
営業利益	418,158	187,890
営業外収益		
受取利息	275	292
受取賃貸料	24,147	28,477
助成金収入	5,377	1,935
受取保険金	234	557
その他	2,466	494
営業外収益合計	32,501	31,756
営業外費用		
支払利息	176	79
賃貸収入原価	17,891	23,392
その他	388	1,402
営業外費用合計	18,456	24,874
経常利益	432,203	194,772
特別利益		
固定資産売却益	127	270
特別利益合計	127	270
特別損失		
固定資産除却損	672	241
減損損失	28,350	36,880
投資有価証券評価損	—	43,000
特別損失合計	29,022	80,121
税金等調整前当期純利益	403,308	114,921
法人税、住民税及び事業税	162,212	130,288
法人税等調整額	△14,889	△31,406
法人税等合計	147,323	98,881
当期純利益	255,984	16,039
親会社株主に帰属する当期純利益	255,984	16,039

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	255,984	16,039
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	255,984	16,039
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	255,984	16,039

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	1,319,154	1,262,230	1,049,453	△391	3,630,446	702	3,631,149
会計方針の変更による累積的影響額			3,681		3,681		3,681
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,319,154	1,262,230	1,053,135	△391	3,634,127	702	3,634,830
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	6,287	6,287			12,574	△124	12,450
剰余金の配当			△102,451		△102,451		△102,451
親会社株主に帰属する当期純利益			255,984		255,984		255,984
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	-	-
当期変動額合計	6,287	6,287	153,532	-	166,106	△124	165,982
当期末残高	1,325,441	1,268,517	1,206,667	△391	3,800,234	578	3,800,813

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	1,325,441	1,268,517	1,206,667	△391	3,800,234	578	-	3,800,813
当期変動額								
新株の発行(新株予約権の行使)	29,339	29,339			58,678	△578		58,100
剰余金の配当			△102,811		△102,811			△102,811
親会社株主に帰属する当期純利益			16,039		16,039			16,039
自己株式の取得				△188,617	△188,617			△188,617
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		2,641			2,641			2,641
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	-	28,059	28,059
当期変動額合計	29,339	31,981	△86,772	△188,617	△214,069	△578	28,059	△186,588
当期末残高	1,354,780	1,300,498	1,119,895	△189,009	3,586,165	-	28,059	3,614,225

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	403,308	114,921
減価償却費	226,099	256,277
減損損失	28,350	36,880
のれん償却額	11,168	10,074
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,370	49,483
支払利息	176	74
固定資産除却損	672	241
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	43,000
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△53,315	△260,375
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△107	△7,940
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,839	50,832
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	6,064	△15,810
前払費用の増減額 (△は増加)	△17,379	△13,737
未払金の増減額 (△は減少)	△39,004	92,419
未払費用の増減額 (△は減少)	2,470	22,719
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,445	△26,893
契約負債の増減額 (△は減少)	237,900	5,263
その他	△112,387	4,705
小計	719,671	362,136
利息及び配当金の受取額	275	292
利息の支払額	—	△74
法人税等の支払額	△105,346	△154,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	614,600	208,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△81,770	△53,465
有形固定資産の売却による収入	172	—
無形固定資産の取得による支出	△217,124	△244,013
投資有価証券の取得による支出	△9,900	△65,581
差入保証金の差入による支出	△40,726	△48,790
差入保証金の回収による収入	2,545	10,128
その他	△12,861	△19,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,666	△421,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△188,617
自己株式取得のための預け金の増減額	—	△212,544
配当金の支払額	△102,320	△102,711
リース債務の返済による支出	△4,597	△4,234
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12,450	58,100
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	30,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,468	△419,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,067	384
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	161,532	△632,413
現金及び現金同等物の期首残高	2,071,714	2,233,247
現金及び現金同等物の期末残高	2,233,247	1,600,833

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「保険販売事業」、「ソリューション事業」及び「システム事業」の3事業を報告セグメントとしております。

「保険販売事業」は、当社直営の来店型保険ショップ『保険クリニック』を運営しております。

「ソリューション事業」は、『保険クリニック』のF C店舗に対する運営サポートや保険販売に関するノウハウ等を提供しております。また、当社で独自開発した『A S - B O X』等の保険販売に係るシステムも販売しております。

「システム事業」はソフトウェアの開発・保守及び販売等をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースでの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	保険販売事業	ソリューション事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,045,285	1,547,451	606,659	5,199,397	—	5,199,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,884	277,075	280,960	△280,960	—
計	3,045,285	1,551,336	883,735	5,480,357	△280,960	5,199,397
セグメント利益	450,163	594,348	37,630	1,082,142	△663,983	418,158
セグメント資産	1,334,965	783,182	559,096	2,677,244	1,900,913	4,578,158
その他の項目						
減価償却費	112,768	70,040	34,171	216,980	9,119	226,099
減損損失	28,350	—	—	28,350	—	28,350
のれんの償却額	11,168	—	—	11,168	—	11,168
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	94,982	139,692	56,382	291,057	△24,421	266,636

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△663,983千円には、セグメント間未実現利益の消去△20,582千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△643,401千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額1,900,913千円には、セグメント間債権債務消去△57,700千円、セグメント間未実現利益消去△72,374千円、各報告セグメントに配分していない全社資産2,030,989千円が含まれております。全社資産は、余剰運用資金（現金等）及び管理部門等に係る資産であります。
 - (4) 減価償却費の調整額は、セグメント間未実現利益の消去△19,795千円、各報告セグメントに配分していない全社費用28,914千円であります。
 - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△24,421千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額19,468千円、セグメント間未実現利益の消去△43,890千円であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	保険販売事業	ソリューション事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,299,467	2,000,758	704,331	6,004,557	—	6,004,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,190	527,067	529,257	△529,257	—
計	3,299,467	2,002,948	1,231,399	6,533,814	△529,257	6,004,557
セグメント利益	274,604	815,764	73,258	1,163,627	△975,737	187,890
セグメント資産	1,556,047	890,195	725,685	3,171,927	1,326,936	4,498,864
その他の項目						
減価償却費	116,759	106,549	44,923	268,232	△11,955	256,277
減損損失	36,880	—	—	36,880	—	36,880
のれんの償却額	10,074	—	—	10,074	—	10,074
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	131,287	141,408	51,882	324,578	△29,744	294,834

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△975,737千円には、セグメント間未実現利益の消去△27,935千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△947,801千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額1,326,936千円には、セグメント間債権債務消去△295,595千円、セグメント間未実現利益消去△100,310千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,722,842千円が含まれております。全社資産は、余剰運用資金（現金等）及び管理部門等に係る資産であります。
 - (4) 減価償却費の調整額は、セグメント間未実現利益の消去△22,183千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10,228千円であります。
 - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△29,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額20,649千円、セグメント間未実現利益の消去△50,394千円であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
メディケア生命保険株式会社	653, 197	保険販売事業・ソリューション事業

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上である顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	保険販売事業	ソリューション 事業	システム事業	調整額	合計
当期償却額	11,168	—	—	—	11,168
当期末残高	66,958	—	—	—	66,958

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	保険販売事業	ソリューション 事業	システム事業	調整額	合計
当期償却額	10,074	—	—	—	10,074
当期末残高	56,883	—	—	—	56,883

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	443円56銭	423円83銭
1株当たり当期純利益金額	29円94銭	1円85銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	29円64銭	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	255,984	16,039
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	255,984	16,039
普通株式の期中平均株式数(株)	8,549,277	8,646,825
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	88,611	—
(うち新株予約権(株))	(88,611)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

株式取得による企業結合

当社は、2023年8月14日開催の取締役会において、株式会社ライフアシストの株式80.9%を取得し、同社を子会社化することを決議し、同日付で基本合意書を締結いたしました。なお、2023年10月2日付で株式の取得を予定しております。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ライフアシスト

事業内容 生命保険の募集に関する業務、損害保険代理業、上記に関する事業のコンサルティング業務、前各号に付帯又は関連する一切の事業

②企業結合を行う主な理由

株式会社ライフアシストは、オリックス生命保険株式会社の連結子会社として、新潟県を中心に13店舗の保険ショップと全国12支社の訪問販売型チャネルを有し、保険販売事業を展開しています。当社は保険販売事業における更なる店舗展開の拡大と、訪問販売型チャネルの基盤強化による事業領域の拡大を展望し、株式を取得することといたしました。

③企業結合日

2023年10月2日 (予定)

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更ありません。

⑥取得する議決権比率

80.9%

⑦取得企業を決定するに至る主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 400百万円

取得原価 400百万円

(3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 7百万円 (予定)

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。